

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
リトルジェム植木		年 月 日				
環境・ 体制・ 運営・ 整備	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
		1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1		
2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		1		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		1	・主に訪問支援事業に配置されている職員で振り返りを行っている。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		・今年度が初めてで、以後毎年行う予定。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			3	※第三者による外部評価は行っていない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			・外部研修に参加する機会を設け、研修後は他の職員に情報共有してもらっている。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			・保護者からの課題やニーズの聞き取り、日頃の見発での様子を含め計画に盛り込んでいる。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			・できる限り全職員での会議を行い、共通理解のもと検討している。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			・訪問先施設に原案を確認してもらい、訪問先施設の意向を反映させている。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			・支援を行う具体的な場面については保護者や訪問先と相談しながら決定し、計画的に支援を行っている。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			・TASP（発達評価シート）にて適応行動を把握している。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			・支援が必要な具体的な場面を想定して、支援内容を設定している。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3				

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		・必要に応じて地域の医療機関を紹介するなどしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		・就学支援シートを作成し、情報提供を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			・外部研修に参加し、社内で情報共有をしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			・子ども部会区部会に積極的に参加している。	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			・HUGにて児童の状況を伝えあうことができる。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	1	・保護者会にて就学や関わり方などについての情報提供を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			・支援後の報告書を説明する際に、家庭での悩み等を伺う時間を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3			・年に数回開催している。	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			・相談等があれば、迅速かつ適切な対応を心がけている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1		2		・現状、訪問支援に関しての情報発信は行っていない。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3					
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3					
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		1	・支援実施後に十分な時間を確保することは難しいが、情報共有は行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			・支援後に家族と面談の時間を設け、支援内容の共有や家庭でできる対応とうの助言を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3				
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3					
その他	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		1	2	・災害や事故発生時のフローチャートを保護者に周知している。訓練は児発にて行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		1	2		

非常時等の対応	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			・ファイリングいつでも確認できるようにしている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		1	・年に一度、虐待防止研修を行っている。	
	46	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	2		1	・委員会開催後は、職員に周知している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		1	・必要な場合は支援計画に記載し、保護者に同意を得ている。	